授業科目		シス	テム構築	単	位之一時間	222時	間		
開講学科	等	シス	テム工学科3年	4	担当教員	濵渦	昇		
授業の目 • テーマ		ウォ	ウォーターフォール型開発を外部設計、内部設計、製造、テストを通して実習する						
授業の 到達目標		実際	実際の現場に近い環境での開発を体験する						
	1	11h	開発環境構築	26					
	2	33h	外部設計	27					
	3	42h	内部設計	28					
	4	45h	製造	29					
	5	36h	テストケース作成	30					
	6	29h	テスト実施	31					
	7	23h	発表準備	32					
	8	3h	成果発表・振り返り	33					
	9			34					
	10			35					
	11			36					
授業の計画	12			37					
	13			38					
	14			39					
	15			40					
	16			41					
	17			42					
	18			43					
	19			44					
	20			45					
	21			46					
	22			47					
	23			48					
	24			49					
	25			50					
授業の方	法	実習	1						
テキス	\	自作	資料						
参考文献	 状	なし	,						
		以下		5.					
評価の方法 や基準		1. 2.	出席率 授業態度 成果物						
			による授業科目の場合、 3務経験と実務経験の活かし方を記載する				0		
実務経懸		SE •	プログラマとしてシステム開発を5年						
実務経験 活かし力		シス	システム開発上起きる問題点や考えるポイントを自身の経験をもとに話す。						
履修上0 注意事項		長期	長期間の実習かつ間に長期休暇を挟むため、議事録で作業履歴をしっかりと残しておく。						

授業科	1	Java	a	単位/時間			84時間	
開講学科	·等	シス	ステム工学科3年		担	当教員	川村 剛久	
授業の目 ・テー ⁻		Java	aの基本的な文法および開発ツールの使い力	すを習	習得す	- る。		
授業の 到達目		Java	aの基本的な文法等を理解して、簡単なプロ	ュグラ	うムて	であれば作成でき	きることを目標とする。	
	1	3h	開発環境構築(設定・動作確認)	26	4h	7-1 メソッ	, ドとは	
	2	1h	1-1 JavalColit	27	3h	7-2 整数€)内部を調べて見よう	
	3	2h	1-2 画面に文字を表示しよう	28	6h	7-3 配列を	:扱うメソッド	
	4	1h	章末演習	29	5h	7-4 多重定	差義	
	5	1h	2-1 変数	30	5h	章末演習		
	6	2h	2-2 キーボードからの入力	31	6h	前期・期末演習]課題作成	
	7	1h	章末演習	32				
	8	3h	3-1 if文	33				
	9	3h	3-2 switch文	34				
	10	1h	3-3 キーワード・識別子・演算子	35				
	11	2h	章末演習	36				
授 業	12	3h	4-1 Do文	37				
\mathcal{O}	13	3h	4-2 while文	38				
計 画	14	3h	4-3 for文	39				
	15	3h	4-4 多重ループ	40				
	16	2h	4-5 break文とcontinue文	41				
	17	2h	4-6 printfメソッド	42				
	18	2h	章末演習	43				
	19	1h	5-1 基本型	44				
	20	1h	5-2 演算と型	45				
	21	1h	5-3 拡張表記	46				
	22	1h	章末演習	47				
	23	4h	6-1 配列	48				
	24	5h	6-2 多次元配列	49				
	25	4h	章末演習	50				
授業の方	法	講義	ま・演習中心に行う。	1		1		
テキス	 	明解	IJava入門編					
参考文献	献	無し	,					
評価の方 や基準		1. 2.	での内容を個別に評価した後、総合的に判断 出席率 (100~95%: A 94~90%: 授業態度 (A~C評価) 期末テスト (100~90%: A 89~75%:	В 8	89~	80% : C 79%		
			はによる授業科目の場合、 足務経験と実務経験の活かし方を記載する				0	
実務経		コンピュータ業界・自治体関連システムや財務会計システムの開発等の経験を有する。						
実務経験 活かした		テキ	テキストの表現では理解しがたいテーマについて、実例を用いて理解させる。					
履修上6 注意事		復習を行うこと。またエラー解決などは、積極的に自己解決の努力をすること。						

授業科目	1	Java	a	単位/時間			103時間	
開講学科	等	シス	テム工学科3年		担	当教員	川村 剛久	
授業の目・テーマ		Java	Javaの基本的な文法および開発ツールの使い方を習得する。					
授業の 到達目標			Javaの基本的な文法やオブジェクト指向を理解して、基本的なプログラムを作成できることを目標と する。					
	1	4h	前期の復習	26	1h	15-2	文字列とString	
	2	3h	8-1 クラスとは	27	2h	15 - 3	文字列の配列とコマンドライン引数	
	3	4h	8-2 自動車クラス	28	2h	章末問題		
	4	2h	章末演習	29	2h	16-1	例外とは	
	5	5h	9-1 日付クラスの作成	30	2h	16-2	例外処理	
	6	3h	9-2 クラス型のフィールド	31	2h	章末問題		
	7	3h	章末演習	32	14h	期末演習課	題作成	
	8	4h	10-1 クラス変数	33				
	9	4h	10-2 クラスメソッド	34				
	10	2h	10-3 クラス初期化子とインスタンス初期化子	35				
	11	3h	章末演習	36				
授	12	2h	11-1 パッケージとインポート宣言	37				
業 の	13	2h	11-2 パッケージの宣言	38				
計画	14	2h	11-3 クラスとメンバのアクセス性	39				
	15	2h	章末演習	40				
	16	4h	12-1 継承	41				
	17	4h	12-2 多相性	42				
	18	4h	12-3 継承とアクセス性	43				
	19	3h	章末問題	44				
	20	4h	13-1 抽象クラス	45				
	21	4h	13-2 抽象性をもつ非抽象メソッドの設計	46				
	22	2h	章末問題	47				
	23	5h	14-1 インタフェース	48				
	24	2h	章末問題	49				
	25	1h	15-1 文字	50				
授業の方	法	講義	」 €・演習中心に行う。	1	1	1		
テキス	-	明解	Java入門編					
参考文献		無し	,					
評価の方 や基準		1. 2.	Fの内容を個別に評価した後、総合的に判断 出席率 (100~95%: A 94~90%: 授業態度 (A~C評価) 演習課題 (100~80%: A 79~70%:	B 8	9 ~ 8	0% : C 79	%∼:D)	
			による授業科目の場合、 3務経験と実務経験の活かし方を記載する				0	
実務経駅		コン	コンピュータ業界・自治体関連システムや財務会計システムの開発等の経験を有する。					
実務経験 活かし力		テキ	テキストの表現では理解しがたいテーマについて、実例を用いて理解させる。					
履修上@ 注意事项		復習を行うこと。またエラー解決などは、積極的に自己解決の努力をすること。						

授業科目		Visual Basic			単	位/時間	76時間			
開講学科	等	シス	テム工学科3年		担	3当教員	森下 浩二			
授業の目・テーマ		Visual Basicの開発環境を通じてツールの使い方、開発の仕方を学習する。								
授業の 到達目標	票	Visu	Visual Basicの基本的な文法等を理解して、基本的プログラムを作成できることを目標とする。							
	1	3h	Visual Basicでのプログラミング	26	3h	演習課題				
	2	2h	Visual Basicでのプログラミング	27	2h	演習課題				
	3	3h	コードの書き方	28	3h	演習課題				
	4	2h	コードの書き方	29	2h	演習課題				
	5	3h	練習問題	30						
	6	3h	条件処理	31						
	7	2h	条件処理	32						
	8	3h	練習問題	33						
	9	3h	繰り返し処理	34						
	10	2h	繰り返し処理	35						
	11	3h	練習問題	36						
授 業	12	3h	 百己 <i>歹</i> [37						
\mathcal{O}	13	2h		38						
計画	14	3h	練習問題	39						
1	15		プロシージャ	40						
	16	3h	プロシージャ	41						
	17	3h	練習問題	42						
	18		演習課題	43						
	19		演習課題	44						
	20		演習課題	45						
	21		演習課題	46						
	22		演習課題	47						
	23		演習課題	48						
	24		演習課題	49						
	25		演習課題	50						
			できるなどを表現している。	00						
テキスト			Wisual Basic2019 (株式会社インプレス)	ı						
参考文献	伏	無し	,							
評価の方や基準		1. 2.	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 出席率 2. 授業態度 3. 演習課題							
			による授業科目の場合、							
実務経験							- 1			
実務経験活かした										
履修上の 注意事項		講義及び解説時には話をよく聞き、理解に努めること。								

授業科目		ビシ	ジネス基礎	単位/時間		12時間			
開講学科	等	シフ	ステム工学科3年		担当教員	川村 剛久			
授業の目 ・テー [・]		仕事	仕事の進め方やビジネス文書の基本的な内容を習得する						
授業の 到達目) 漂	新力	、社員に必要な仕事の常識を身につける						
	1	2h	仕事に取り組む前に知っておきたいこと	26					
	2	2h	仕事への取り組み	27					
	3	2h	仕事への取り組み	28					
	4	2h	ビジネス関連文書	29					
	5	2h	ビジネス関連文書	30					
	6	2h	仕事の技法と知識	31					
	7			32					
	8			33					
	9			34					
	10			35					
	11			36					
授 業	12			37					
の計	13			38					
画	14			39					
	15			40					
	16			41					
	17			42					
	18			43					
	19			44					
	20			45					
	21			46					
	22			47					
	23			48					
	24			49					
	25			50					
授業の力	法	講義	遠及び個人ワーク						
テキス	١	無し	,						
参考文	献	仕事	事の常識 基本テキスト (日本能率協会マ	ネジメン	/トセンター)				
評価の力 や基準		授業	美態度、課題完成度、出席率						
実務経験の 右欄に〇	のある を入れ	」 う教員 い、 実	員による授業科目の場合、 長務経験と実務経験の活かし方を記載する						
実務経	験					,			
実務経験活かし									
	履修上の 注意事項		仕事をする上で常識的に必要な内容であるため、真剣に取り組むこと。						

授業科目		国家試験対策(応用情報 春期 マネジメント) 単位/	/時間	24時間			
開講学科	等	システム工学科3年	担当	教員	中川 隆			
授業の目 ・テー		応用情報技術者試験にて出題されるマネジメントの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を 養う。						
授業の 到達目標		応用情報技術者試験合格を目標とする。						
	1	2h システム監査概要解説	26					
	2	6h 練習問題 (午前問題)	27					
	3	6h 練習問題(プロジェクトマネジメント)	28					
	4	6h 練習問題(ITサービスマネジメント)	29					
	5	4h 練習問題(監査)	30					
	6		31					
	7		32					
	8		33					
	9		34					
	10		35					
松	11		36					
授 業	12		37					
の 計	13		38					
画	14		39					
	15		40					
	16		41					
	17		42					
	18		43					
	19		44					
	20		45					
	21		46					
	22		47					
	23		48					
	24		49					
伝来の士	25	3# 天 〈平 23 旧 B B (二 4 4 2 7 4 7 4 8 8 2 3 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	50					
授業の力	法	講義・練習問題実施及び解説			_			
テキス	١	応用情報技術者合格教本【技術評論社】						
参考文	狀	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他						
		以下の内容を個別に評価し、総合的に判断す	る。					
評価の方 や基準		1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合						
		計で計算して評価する。 3教員による授業科目の場合、 1、実務経験と実務経験の活かし方を記載する)					
実務経	験							
実務経験活かし								
履修上(注意事 ³		理解を深めるために復習を行うこと。						

授業科目	科目 国家試験対策(応用情報 春期 ストラテジ) 単位/時間		単位/時間	21時間					
開講学科	等	システム工学科3年		担当教員	濵渦 昇				
授業の目 ・テーマ	的?	応用情報技術者試験にて出題されるストラテジの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。							
授業の 到達目標		応用情報技術者試験合格を目標とする。							
	1	1h キャッシュフロー・財務指標	26						
	2	6h 練習問題(午前問題)	27						
	3	14h 練習問題(経営戦略)	28						
	4		29						
	5		30						
	6		31						
	7		32						
	8		33						
	9		34						
	10		35						
	11		36						
授 業	12		37						
\mathcal{O}	13		38						
計 画	14		39						
	15		40						
	16		41						
	17		42						
	18		43						
	19		44						
	20		45						
	21		46						
	22		47						
	23		48						
	24		49						
	25		50						
授業の方	法	講義・練習問題実施及び解説							
テキスト	,	応用情報技術者合格教本【技術評論社】							
参考文献	犬	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他							
評価の方法 や基準		以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。							
		る教員による授業科目の場合、 1、実務経験と実務経験の活かし方を記載する							
実務経験	矣								
実務経験 活かし力									
履修上の 注意事項		理解を深めるために復習を行うこと。							

授業科	=	国家試験対策(応用情報 春期 コンピュータシステム・アーキテクチャ)	単位/時間	37時間			
開講学科	等	システム工学科3年	担当教員	橋本貴之			
授業の目 ・テー ⁻		応用情報技術者試験にて出題されるコンピュータシステム・アーキテクチャの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。					
授業の 到達目		応用情報技術者試験合格を目標とする。					
	1	2h 練習問題実施・解説 1	26				
	2	2h 練習問題実施・解説 2	27				
	3	2h 練習問題実施・解説 3	28				
	4	2h 練習問題実施・解説 4	29				
	5	2h 練習問題実施・解説 5	30				
	6	2h 練習問題実施・解説 6	31				
	7	2h 練習問題実施・解説 7	32				
	8	2h 練習問題実施・解説 8	33				
	9	2h 過去問題実施・解説 1	34				
	10	3h 過去問題実施・解説 2	35				
	11	3h 過去問題実施・解説 3	36				
授 業	12	3h 過去問題実施・解説 4	37				
の	13	3h 過去問題実施・解説 5	38				
計画	14	3h 過去問題実施・解説 6	39				
	15	2h 過去問題実施・解説 7	40				
	16	2h 過去問題実施・解説 8	41				
	17		42				
	18		43				
	19		44				
	20		45				
	21		46				
	22		47				
	23		48				
	24		49				
	25		50				
授業の方	法	講義・練習問題実施及び解説					
テキス	١	応用情報技術者合格教本【技術評論社】					
参考文献	献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他					
評価の方 や基準		以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。					
		る教員による授業科目の場合、 1、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	5教員による授業科目の場合、				
実務経	淚						
実務経験活かした							
履修上(注意事]		理解を深めるために復習を行うこと。					

授業科目		国家試験	験対策(応用情報 春期 情報システム開発)) 単位/時間			22時間	
開講学科	等	システ	 ム工学科3年		担当教員		保 あゆみ	
授業の目・テーヤ			応用情報技術者試験にて出題される情報システム開発の分野の問題に対して、読解・解答が出来る 力を養う。					
授業の 到達目標		応用情	報技術者試験合格を目標とする。					
	1	3h 過	去問題実施・解説 1	26				
	2	3h 過	去問題実施・解説 2	27				
	3	3h 過	去問題実施・解説 3	28				
	4	3h 過·	去問題実施・解説 4	29				
	5	3h 過	去問題実施・解説 5	30				
	6	3h 過	去問題実施・解説 6	31				
	7	2h 過	去問題実施・解説 7	32				
	8	2h 過	去問題実施・解説 8	33				
	9			34				
	10			35				
	11			36				
授 業	12			37				
の	13			38				
計画	14			39				
	15			40				
	16			41				
	17			42				
	18			43				
	19			44				
	20			45				
	21			46				
	22			47				
	23			48				
	24			49				
	25			50				
授業の方	法	講義・流	練習問題実施及び解説					
テキス	F	応用情報	報技術者合格教本【技術評論社】					
参考文献	伏	応用情報	報技術者試験本試験問題集【TAC】 他					
	評価の方法や基準		以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。					
			よる授業科目の場合、 経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経駅	倹							
実務経験活かした	5							
	履修上の 注意事項		深めるために復習を行うこと。					

授業科	1	国家	試験対策(応用情報 春期 組込みシステム開発)	<u>í</u>	単位/時間	15時間		
開講学科	等	シス	テム工学科3年		担当教員	橋本 貴之		
授業の目・テーヤ			応用情報技術者試験にて出題される組込みシステム開発の分野の問題に対して、読解・解答が出来 る力を養う。					
授業の 到達目標		応用	情報技術者試験合格を目標とする。					
	1	3h	専門用語解説	26				
	2	2h	過去問題実施・解説 1	27				
	3	2h	過去問題実施・解説 2	28				
	4	2h	過去問題実施・解説 3	29				
	5	2h	過去問題実施・解説 4	30				
	6	2h	過去問題実施・解説 5	31				
	7	2h	過去問題実施・解説 6	32				
	8			33				
	9			34				
	10			35				
	11			36				
授 業	12			37				
\mathcal{O}	13			38				
計画	14			39				
	15			40				
	16			41				
	17			42				
	18			43				
	19			44				
	20			45				
	21			46				
	22			47				
	23			48				
	24			49				
	25			50				
授業の方	法	講義	・練習問題実施及び解説					
テキス	-	応用	情報技術者合格教本【技術評論社】					
参考文献	伏	応用	情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他					
	評価の方法や基準		以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。					
			員による授業科目の場合、 実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験	倹							
実務経験 活かした								
	履修上の 注意事項		を深めるために復習を行うこと。					

授業科目		国家	ミ試験対策(応用情報 春期 データベース)	単位/時間		30時間		
開講学科	等	シブ	マテム工学科3年	担当教員		川村 剛久		
授業の目 ・テー ⁻			応用情報技術者試験にて出題されるデータベースの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を 養う。					
授業の 到達目標		応用	目情報技術者試験合格を目標とする。					
	1	1h	データベースの基礎	26				
	2	2h	正規化(復習)、非正規化	27				
	3	2h	関係データベースの演算	28				
	4	2h	SELECT文(復習)	29				
	5	2h	CREATE TABLE文	30				
	6	1h	ビューの定義、トリガ	31				
	7	2h	オブジェクトの処理権限	32				
	8	2h	トランザクション制御	33				
	9	2h	DBMSの障害回復管理	34				
	10	2h	分散データベース	35				
	11	2h	データウェアハウス、データマイニング	36				
授 業	12	2h	応用情報過去問題・解説 1	37				
の	13	2h	応用情報過去問題・解説 2	38				
計画	14	2h	応用情報過去問題・解説3	39				
	15	2h	応用情報過去問題・解説 4	40				
	16	2h	応用情報過去問題・解説 5	41				
	17			42				
	18			43				
	19			44				
	20			45				
	21			46				
	22			47				
	23			48				
	24			49				
	25			50				
授業の方	法	講義	と・練習問題実施及び解説	1				
テキス	<u>۲</u>	応用]情報技術者合格教本【技術評論社】					
参考文献	献	応用	情報技術者試験過去験問題 情報処理教科書データ	7ベース	スペシャリスト他			
評価の方 や基準		1. 2. 複数	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。					
			員による授業科目の場合、 実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経歴								
実務経験活かした								
履修上6 注意事功		理解	¥を深めるために復習を行うこと。					

授業科目		国家	ミ試験対策(応用情報 春期 アルゴリズム)		単位/時間	40時間		
開講学科	斗等	シブ	マスエ学科3年	担当教員		中川隆		
授業のE ・テー			応用情報技術者試験にて出題されるアルゴリズムの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を 養う。					
授業 <i>0</i> 到達目) 標	応用	月情報技術者試験合格を目標とする。					
	1	2h	練習問題実施・解説 1	26				
	2	2h	練習問題実施・解説 2	27				
	3	2h	練習問題実施・解説 3	28				
	4	2h	配列処理(文字列) 1	29				
	5	2h	配列処理(文字列) 2	30				
	6	3h	データ構造 1	31				
	7	3h	データ構造 2	32				
	8	2h	データ構造 3	33				
	9	3h	木構造 1	34				
	10		木構造 2	35				
	11	1h	木構造 3	36				
授	12	1h	探索処理	37				
業の	13	2h	ハッシュ法 1	38				
計 画	14	2h	ハッシュ法 2	39				
μ	15	2h	整列処理 1	40				
	16	2h	応用整列処理 1	41				
	17	2h	応用整列処理 2	42				
	18	2h	応用整列処理 3	43				
	19	2h	応用整列処理 4	44				
	20			45				
	21			46				
	22			47				
	23			48				
	24			49				
	25			50				
授業の力	方法	講義	と・練習問題実施及び解説	1	<u> </u>			
テキス	<u>۲</u>	応用	目情報技術者合格教本【技術評論社】					
参考文	献		情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他					
評価の力や基準		1. 2. 複数	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。					
			員による授業科目の場合、 実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経	験							
実務経験 活かし	方							
	履修上の 注意事項		¥を深めるために復習を行うこと。					

授業科目		国家	試験対策(応用情報 春期 ネットワーク・情報セキュリティ)	単位/時間		37時間		
開講学科	等	シフ	マテム工学科3年	担当教員		濱渦 昇		
授業の目 ・テー			応用情報技術者試験にて出題されるネットワーク・情報セキュリティの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。					
授業の 到達目		応月	月情報技術者試験合格を目標とする。					
	1	2h	OSI基本参照モデル・TCP/IPプロトコルスイート	26				
	2	2h	L3SW・ルーティンク゛ IP	27				
	3	3h	LAN (IEEE802) L2SW • MAC	28				
	4	2h	HTTP DNS HDCP	29				
	5	2h	SMTP POP IMAP	30				
	6	2h	暗号化(AES RSA)	31				
	7	2h	ディジタル署名 (TLS) PKI	32				
	8	3h	認証方式	33				
	9	3h	ウィルス対策・攻撃手法の種類と対策	34				
	10	2h	本試験過去問題実施・解説 1	35				
	11	2h	本試験過去問題実施・解説 2	36				
授 業	12	2h	本試験過去問題実施・解説 3	37				
の計	13	2h	本試験過去問題実施・解説 4	38				
画	14	2h	本試験過去問題実施・解説 5	39				
	15	2h	本試験過去問題実施・解説 6	40				
	16	2h	本試験過去問題実施・解説 7	41				
	17	2h	本試験過去問題実施・解説 8	42				
	18			43				
	19			44				
	20			45				
	21			46				
	22			47				
	23			48				
	24			49				
	25			50				
授業の力	法	講拿	え・練習問題実施及び解説					
テキス	١	応用	目情報技術者合格教本【技術評論社】					
参考文	献	応用	情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他					
			この内容を個別に評価し、総合的に判断する	0				
評価の方 や基準		2 複数	1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合					
		_ る教」	受計算して評価する。 員による授業科目の場合、 実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験			TO THE CONTRACT OF THE PARTY OF					
実務経験活かした								
履修上(注意事 []]		理角	理解を深めるために復習を行うこと。					

授業科	E I	国家	試験対策(応用情報 春期 模擬試験)	単位/時間		28時間		
開講学科	等	シス・	テム工学科3年	担当教員		川村 剛久		
授業の目・テー			応用情報技術者試験本試相当レベルの問題を解き、各問題に対する解答時間の配分や、現時点での 各分野における理解度を確認する。					
授業の 到達目		応用·	情報技術者試験合格を目標とする。					
	1	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 1	26				
	2	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 2	27				
	3	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 3	28				
	4	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 4	29				
	5			30				
	6			31				
	7			32				
	8			33				
	9			34				
	10			35				
+∞	11			36				
授 業	12			37				
の 計	13			38				
画	14			39				
	15			40		_		
	16			41		_		
	17			42		_		
	18			43				
	19			44				
	20			45				
	21			46				
	22			47				
	23			48				
	24			49				
授業の方	25	H# H27	試験 実施・自己採点及び確認	50				
授耒の万	伝	快艇i	武線 夫旭・日こ休点及い唯能					
テキス	1	無し						
参考文献	献	無し						
評価の方 や基準		1.7 2. 複数	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。					
			による授業科目の場合、 務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経	験							
実務経験活かした	方							
履修上(注意事)		理解	を深めるために復習を行うこと。					

授業科目		国家	家試験対策(基本情報 春期 情報セキュリティ)	単位/時間		29時間		
開講学科	等	シフ	ステム工学科3年	担当教員		濵渦 昇		
授業の目 • テー		基本う。	基本情報技術者試験にて出題される情報セキュリティ分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。					
授業の 到達目		基本	に情報技術者試験合格を目標とする。					
	1	2h	OSI基本参照モデル・TCP/IP・LAN間接続装置	26				
	2	3h	IPアドレス、プロトコル、FW	27				
	3	3h	暗号化とディジタル署名	28				
	4	3h	マルウェア	29				
	5	3h	練習問題実施・解説 1	30				
	6	3h	練習問題実施・解説 2	31				
	7	3h	練習問題実施・解説 3	32				
	8	3h	練習問題実施・解説 4	33				
	9	3h	練習問題実施・解説 5	34				
	10	3h	練習問題実施・解説 6	35				
	11			36				
授 業	12			37				
の	13			38				
計 画	14			39				
	15			40				
	16			41				
	17			42				
	18			43				
	19			44				
	20			45				
	21			46				
	22			47				
	23			48				
	24			49				
	25			50				
授業の力	法	講拿	&・練習問題実施及び解説					
テキス	ŀ	なし						
参考文	献	基本	「情報技術者試験対策テキストⅡ システムの利用と開発編	基本情報	報技術者試験本試験問	題集【TAC】 他		
評価の力	· 法	1	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果					
や基準		複数	. 出席率及び授業態度 数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員 ご計算して評価する。	ごとの)点数×担当教員が	受け持つ時間の割合」の合		
			員による授業科目の場合、 実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経								
実務経験活かし	方							
履修上(注意事)		理角	理解を深めるために復習を行うこと。					

授業科目		国家		単位/時間		64時間		
開講学科	等	シス	テム工学科3年		担当教員	森下 浩二		
授業の目・テー			基本情報技術者試験にて出題されるアルゴリズムの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を 養う。					
授業の 到達目相		基本	な情報技術者試験合格を目標とする。					
	1	3h	探索処理	26				
	2	4h	整列処理	27				
	3	4h	文字列操作処理	28				
	4	2h	データ構造 1	29				
	5	2h	データ構造 2	30				
	6	2h	データ構造 3	31				
	7	3h	ハッシュ法	32				
	8	2h	再帰呼び出し	33				
	9	3h	応用整列処理 1	34				
	10	3h	応用整列処理 2	35				
	11	3h	練習問題実施・解説 1	36				
授 業	12	3h	練習問題実施・解説 2	37				
の	13	3h	練習問題実施・解説 3	38				
計 画	14	3h	練習問題実施・解説 4	39				
	15	3h	練習問題実施・解説 5	40				
	16	3h	練習問題実施・解説 6	41				
	17	3h	練習問題実施・解説 7	42				
	18	3h	練習問題実施・解説 8	43				
	19	3h	練習問題実施・解説 9	44				
	20	3h	練習問題実施・解説 10	45				
	21	3h	練習問題実施・解説 11	46				
	22	3h	練習問題実施・解説 12	47				
	23			48				
	24			49				
	25			50				
授業の方	法	講義	・練習問題実施及び解説					
テキス	١	無し						
参考文	献	基本	情報技術者試験対策テキストIVアルゴリズム編【7	"AC】	基本情報技術者試験本	本試験問題集【TAC】 他		
評価の方		1. 2. 複数	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。					
		L 5教員	員による授業科目の場合、 実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経								
実務経験活かした	方							
履修上6 注意事 ¹		理解	な深めるために復習を行うこと。					

授業科目		国家	試験対策(基本情報 春期 オブジェクト指向)	単位/時間		20時間		
開講学科	等	シフ	ペテム工学科3年	担当教員		内藤 正勝		
授業の目 ・テー ⁵		基本	基本情報技術者試験にて出題されるC言語の分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。					
授業の 到達目標		基本	「情報技術者試験合格を目標とする。					
	1	1h	オブジェクト指向、オブジェクトとクラス	26				
	2	1h	プログラミングの基本	27				
	3	1h	オブジェクト配列、メンバ変数	28				
	4	1h	複数の数値データ属性をもつクラス	29				
	5	1h	データ構造の表現	30				
	6	1h	文字列操作用のクラス	31				
	7	1h	練習問題実施・解説 1	32				
	8	1h	練習問題実施・解説 2	33				
	9	1h	練習問題実施・解説 3	34				
	10	1h	練習問題実施・解説 4	35				
	11	1h	練習問題実施・解説 5	36				
授 業	12	1h	練習問題実施·解説 6	37				
の	13	1h	練習問題実施・解説 7	38				
計 画	14	1h	練習問題実施・解説 8	39				
	15	1h	練習問題実施・解説 9	40				
	16	1h	練習問題実施・解説 10	41				
	17	1h	練習問題実施・解説 11	42				
	18	1h	練習問題実施・解説 12	43				
	19	1h	練習問題実施・解説 13	44				
	20	1h	練習問題実施・解説 14	45				
	21			46				
	22			47				
	23			48				
	24			49				
	25			50				
	法	講義	と・練習問題実施及び解説					
<u> </u>								
テキス	١	なし						
参考文献		基本	情報技術者試験対策テキストV プログラミングC言語編【	「AC】 基	本情報技術者試験	本試験問題集【TAC】 他		
		以下	- 「の内容を個別に評価し、総合的に判断する	0				
評価の方		1.	模擬試験及び本試験結果 . 出席率及び授業態度					
や基準		複数	女の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員	ごとの	点数×担当教員	が受け持つ時間の割合」の合		
中郊(20 E6)	カキュ		で計算して評価する。 ラストス 極業利 日の担合					
			員による授業科目の場合、 実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経駅	淚					,		
実務経験 活かしフ								
履修上@ 注意事了		理解	¥を深めるために復習を行うこと。					

授業科	目	国家	京試験対策(基本情報 春期 模擬試験)	単位/時間		24時間		
開講学科	等	シフ	ステム工学科 3年	担当教員		川村 剛久		
授業の目 ・テー			基本情報技術者試験本試相当レベルの問題を解き、各問題に対する解答時間の配分や、現時点での 各分野における理解度を確認する。					
授業の 到達目標		基本	×情報技術者試験合格を目標とする。					
	1	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 1	26				
	2	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 2	27				
	3	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 3	28				
	4	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 4	29				
	5	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 5	30				
	6	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 6	31				
	7	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 7	32				
	8	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 8	33				
	9			34				
	10			35				
	11			36				
授 業	12			37				
の計	13			38				
画	14			39				
	15			40				
	16			41				
	17			42				
	18			43				
	19			44				
	20			45				
	21			46				
	22			47				
	23			48				
	24			49				
l	25			50				
授業の力	法	模携	経試験 実施・自己採点及び確認					
テキス	١	無し						
参考文	献	無し	,					
評価の方 や基準		1 2 複数	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。					
			員による授業科目の場合、 実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経	験							
実務経験活かした								
履修上(注意事)		理角	¥を深めるために復習を行うこと。					

授業科目		国家試験対策(応用情報 秋期 マネジメント)	単位/時間 24時間					
開講学科	等	システム工学科3年	担当教員 中川 隆					
授業の目 ・テーマ		応用情報技術者試験にて出題されるマネジメントの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を 養う。						
授業の 到達目標	票	応用情報技術者試験合格を目標とする。						
	1	2h システム監査概要解説	26					
	2	6h 練習問題 (午前問題)	27					
	3	6h 練習問題 (プロジェクトマネジメント)	28					
	4	6h 練習問題(ITサービスマネジメント)	29					
	5	4h 練習問題 (監査)	30					
	6		31					
	7		32					
	8		33					
	9		34					
	10		35					
	11		36					
授 業	12		37					
\mathcal{O}	13		38					
計 画	14		39					
	15		40					
	16		41					
	17		42					
	18		43					
	19		44					
	20		45					
	21		46					
	22		47					
	23		48					
	24		49					
	25		50					
授業の方	法	講義・練習問題実施及び解説						
テキスト		応用情報技術者合格教本【技術評論社】						
参考文献	犬	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他						
評価の方法 や基準		以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。						
実務経験の 右欄に○を	りある と入れ	る教員による授業科目の場合、 n、実務経験と実務経験の活かし方を記載する 「						
実務経験	矣							
実務経験 活かし力								
履修上の 注意事項		理解を深めるために復習を行うこと。						

授業科目	授業科目		試験対策(応用情報 秋期 ストラテジ)	È	単位/時間	20時間			
開講学科	·等	シブ	ペテム工学科3年	担当教員		濵渦 昇			
授業の目・テーヤ		応用う。	応用情報技術者試験にて出題されるストラテジの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。						
授業の 到達目標	票	応用	月情報技術者試験合格を目標とする。						
	1	1h	キャッシュフロー・財務指標	26					
	2		練習問題(午前問題)	27					
	3	13h	練習問題(経営戦略)	28					
	4			29					
	5			30					
	6			31					
	7			32					
	8			33					
	9			34					
	10			35					
-	11			36					
授 業	12			37					
の 計	13			38					
画	14			39					
	15			40					
	16			41					
	17			42					
	18			43					
	19			44					
	20			45					
	21			46					
	22			47					
	23			48					
	24			49					
	25			50					
授業の方	法	講義	・練習問題実施及び解説						
テキス	 	応用	情報技術者合格教本【技術評論社】						
参考文献		応用]情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他						
評価の方 や基準		1. 2. 複数	での内容を個別に評価し、総合的に判断す . 模擬試験及び本試験結果 . 出席率及び授業態度 かの担当教員が受け持つ科目は、「担当教 ご計算して評価する。		点数×担当教員/	が受け持つ時間の割合」の合			
			員による授業科目の場合、 実務経験と実務経験の活かし方を記載する						
実務経り	険								
実務経験 活かし力									
履修上0 注意事項		理解	¥を深めるために復習を行うこと。						

授業科目		国家試験対策(応用情報 秋期 コンピュータシステム・アーキテクチャ)	単位/時間	38時間			
開講学科	等	システム工学科3年	担当教員	橋本貴之			
授業の目 ・テー ⁻		応用情報技術者試験にて出題されるコンピュータシステム・アーキテクチャの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。					
授業の 到達目		応用情報技術者試験合格を目標とする。					
	1	2h 練習問題実施・解説 1	26				
	2	2h 練習問題実施・解説 2	27				
	3	2h 練習問題実施・解説 3	28				
	4	2h 練習問題実施・解説 4	29				
	5	2h 練習問題実施・解説 5	30				
	6	2h 練習問題実施・解説 6	31				
	7	2h 練習問題実施・解説 7	32				
	8	2h 練習問題実施・解説 8	33				
	9	3h 過去問題実施・解説 1	34				
	10	3h 過去問題実施・解説 2	35				
	11	3h 過去問題実施・解説 3	36				
授 業	12	3h 過去問題実施・解説 4	37				
の	13	3h 過去問題実施・解説 5	38				
計画	14	3h 過去問題実施・解説 6	39				
	15	2h 過去問題実施・解説 7	40				
	16	2h 過去問題実施・解説 8	41				
	17		42				
	18		43				
	19		44				
	20		45				
	21		46				
	22		47				
	23		48				
	24		49				
	25		50				
授業の方	法	講義・練習問題実施及び解説					
テキス	١	応用情報技術者合格教本【技術評論社】					
参考文	獣	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他					
評価の方		以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。					
		る教員による授業科目の場合、 れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	5教員による授業科目の場合、				
実務経	験						
実務経験活かした							
履修上(注意事]		理解を深めるために復習を行うこと。					

授業科目		国家	試験対策(応用情報 秋期 情報システム開発)	単	鱼位/時間	2	 2時間	
開講学科	等	シス	テム工学科3年		担当教員	川久伊	ス あゆみ	
授業の目・テーヤ			応用情報技術者試験にて出題される情報システム開発の分野の問題に対して、読解・解答が出来る 力を養う。					
授業の 到達目標		応用	情報技術者試験合格を目標とする。					
	1	3h	過去問題実施・解説 1	26				
	2	3h	過去問題実施・解説 2	27				
	3	3h	過去問題実施・解説 3	28				
	4	3h	過去問題実施・解説 4	29				
	5	3h	過去問題実施・解説 5	30				
	6	3h	過去問題実施・解説 6	31				
	7	2h	過去問題実施・解説 7	32				
	8	2h	過去問題実施・解説 8	33				
	9			34				
	10			35				
	11			36				
授 業	12			37				
\mathcal{O}	13			38				
計画	14			39				
	15			40				
	16			41				
	17			42				
	18			43				
	19			44				
	20			45				
	21			46				
	22			47				
	23			48				
	24			49				
	25			50				
授業の方	法	講義	・練習問題実施及び解説					
テキス	F	応用·	情報技術者合格教本【技術評論社】					
参考文献	伏	応用'	情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他					
	評価の方法 や基準		以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。					
			による授業科目の場合、 孫経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経り	倹							
実務経験活かした	5							
	履修上の 注意事項		を深めるために復習を行うこと。					

授業科	1	国家	試験対策(応用情報 秋期 組込みシステム開発)	į	単位/時間	15時間		
開講学科	等	シス	テム工学科3年		担当教員	橋本 貴之		
授業の目 ・テー ⁻			応用情報技術者試験にて出題される組込みシステム開発の分野の問題に対して、読解・解答が出来 る力を養う。					
授業の 到達目標		応用	応用情報技術者試験合格を目標とする。					
	1	3h	専門用語解説	26				
	2	2h	過去問題実施・解説 1	27				
	3	2h	過去問題実施·解説 2	28				
	4	2h	過去問題実施・解説 3	29				
	5	2h	過去問題実施·解説 4	30				
	6	2h	過去問題実施・解説 5	31				
	7	2h	過去問題実施・解説 6	32				
	8			33				
	9			34				
	10			35				
	11			36				
授 業	12			37				
\mathcal{O}	13			38				
計画	14			39				
	15			40				
	16			41				
	17			42				
	18			43				
	19			44				
	20			45				
	21			46				
	22			47				
	23			48				
	24			49				
	25			50				
授業の方	法	講義	・練習問題実施及び解説					
テキス	F	応用	情報技術者合格教本【技術評論社】					
参考文献	伏	応用	情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他					
	評価の方法 や基準		以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。					
			員による授業科目の場合、 足務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経駅	倹							
実務経験活かした	5							
	履修上の 注意事項		を深めるために復習を行うこと。					

授業科目		国家		単位/時間		37時間		
開講学科	等	シス	ステム工学科3年		担当教員	川村 剛久		
授業の目・テーヤ			応用情報技術者試験にて出題されるデータベースの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を 養う。					
授業の 到達目		応用	目情報技術者試験合格を目標とする。					
	1	2h	データベースの基礎	26				
	2	2h	正規化(復習)、非正規化	27				
	3	2h	関係データベースの演算	28				
	4	2h	SELECT文(復習)	29				
	5	2h	CREATE TABLE文	30				
	6	2h	ビューの定義、トリガ	31				
	7	2h	オブジェクトの処理権限	32				
	8	2h	トランザクション制御	33				
	9	2h	DBMSの障害回復管理	34				
	10	2h	分散データベース	35				
	11	2h	データウェアハウス、データマイニング	36				
授 業	12	3h	応用情報過去問題・解説 1	37				
の	13	3h	応用情報過去問題・解説 2	38				
計 画	14	3h	応用情報過去問題・解説3	39				
	15	3h	応用情報過去問題・解説 4	40				
	16	3h	応用情報過去問題・解説 5	41				
	17			42				
	18			43				
	19			44				
	20			45				
	21			46				
	22			47				
	23			48				
	24			49				
	25			50				
授業の方		講義	 					
テキス	F	応用]情報技術者合格教本【技術評論社】					
参考文献		応用	情報技術者試験過去験問題 情報処理教科書データ	!ベース	スペシャリスト他			
評価の方 や基準		1. 2. 複数	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。					
			員による授業科目の場合、 実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経								
実務経験活かした	方							
履修上の 注意事項		理解	¥を深めるために復習を行うこと。					

授業科目		国家	え試験対策(応用情報 秋期 アルゴリズム)	È	単位/時間	44時間					
開講学科	等	シフ	ステム工学科3年	担当教員		中川 隆					
授業の目 ・テー [・]			応用情報技術者試験にて出題されるアルゴリズムの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を 養う。								
授業 <i>の</i> 到達目標		応用	月情報技術者試験合格を目標とする。								
	1	2h	練習問題実施・解説 1	26							
	2	2h	練習問題実施・解説 2	27							
	3	2h	練習問題実施・解説 3	28							
	4	2h	配列処理(文字列) 1	29							
	5	2h	配列処理(文字列) 2	30							
	6	4h	データ構造 1	31							
	7	4h	データ構造 2	32							
	8	2h	データ構造 3	33							
	9	4h	木構造 1	34							
	10	4h	木構造 2	35							
	11	1h	木構造 3	36							
授 業	12	1h	探索処理	37							
\mathcal{O}	13	2h	ハッシュ法 1	38							
計 画	14	2h	ハッシュ法 2	39							
	15	2h	整列処理 1	40							
	16	2h	応用整列処理 1	41							
	17	2h	応用整列処理 2	42							
	18	2h	応用整列処理 3	43							
	19	2h	応用整列処理 4	44							
	20			45							
	21			46							
	22			47							
	23			48							
	24			49							
	25			50							
授業の力	法	講彰	と・練習問題実施及び解説								
テキス	<u>۱</u>	応用]情報技術者合格教本【技術評論社】								
参考文	献	応用	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他								
	評価の方法 や基準		以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。								
			る教員による授業科目の場合、 れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する								
実務経!	験										
実務経験活かし											
履修上(注意事 ⁾		理角	gを深めるために復習を行うこと。								

授業科	 	国家試験対策(応用情報 秋期 ネットワーク・情報セキュリティン	単位/時	間	37時間				
開講学科	等	システム工学科3年	担当教員		濵渦 昇				
授業の目 • テー ⁻		応用情報技術者試験にて出題されるネットワーク・情報セキュリティの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。							
授業の 到達目相		応用情報技術者試験合格を目標とする。							
	1	2h OSI基本参照モデル・TCP/IPプロトコルスイート	26						
	2	2h L3SW・ルーティンク IP	27						
	3	3h LAN (IEEE802) L2SW • MAC	28						
	4	2h HTTP DNS HDCP	29						
	5	2h SMTP POP IMAP	30						
	6	2h 暗号化 (AES RSA)	31						
	7	2h ディジタル署名 (TLS) PKI	32						
	8	3h 認証方式	33						
	9	3h ウィルス対策・攻撃手法の種類と対策	34						
	10	2h 本試験過去問題実施・解説 1	35						
	11	2h 本試験過去問題実施・解説 2	36						
授 業	12	2h 本試験過去問題実施・解説 3	37						
\mathcal{O}	13	2h 本試験過去問題実施・解説 4	38						
計画	14	2h 本試験過去問題実施・解説 5	39						
	15	2h 本試験過去問題実施・解説 6	40						
	16	2h 本試験過去問題実施・解説 7	41						
	17	2h 本試験過去問題実施・解説 8	42						
	18		43						
	19		44						
	20		45						
	21		46						
	22		47						
	23		48						
	24		49						
	25		50						
授業の方	法	講義・練習問題実施及び解説							
テキス	ŀ	応用情報技術者合格教本【技術評論社】							
参考文	献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他							
評価の方や基準		以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。							
		る教員による授業科目の場合、 1、実務経験と実務経験の活かし方を記載する							
実務経	験								
実務経験活かした									
履修上(注意事)		理解を深めるために復習を行うこと。							

授業科目		国家試験対策(応用情報 秋期 模:	擬試験)	単	位/時間	35時間				
開講学科	等	システム工学科3年		担	且当教員	川村 剛久				
授業の目 ・テー ⁻		応用情報技術者試験本試相当レベルの問題を解き、各問題に対する解答時間の配分や、現時点での 各分野における理解度を確認する。								
授業の 到達目		応用情報技術者試験合格を目標とっ	ける。							
	1	7h 模擬試験 実施・自己採点及	び確認 1	26						
	2	7h 模擬試験 実施・自己採点及		27						
	3	7h 模擬試験 実施・自己採点及	び確認 3	28						
	4	7h 模擬試験 実施・自己採点及	び確認 4	29						
	5	7h 模擬試験 実施・自己採点及	び確認 5	30						
	6			31						
	7			32						
	8			33						
	9			34						
	10			35						
	11			36						
授 業	12			37						
の 計	13			38						
画	14			39						
	15			40						
	16			41						
	17			42						
	18			43						
	19			44						
	20			45						
	21			46						
	22			47						
	23			48						
	24			49						
	25			50						
授業の方	i法 ———	模擬試験 実施・自己採点及び確認	•							
テキス	١	無し								
参考文献	献	無し								
評価の方 や基準		以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。								
		る教員による授業科目の場合、 れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する								
実務経	験									
実務経験活かした	方									
履修上の 注意事項		理解を深めるために復習を行うこと	<u> </u>							

授業科目		国家	京試験対策(基本情報 秋期 情報セキュリティ)		単位/時間	45時間				
開講学科等		シフ	マテム工学科3年	担当教員		濱渦 昇				
授業の目 • テー		基本情報技術者試験にて出題される情報セキュリティ分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。								
授業の 到達目		基本	広情報技術者試験合格を目標とする。							
	1	2h	OSI基本参照モデル・TCP/IP・LAN間接続装置	26						
	2	2h	IPアドレス、プロトコル、FW	27						
	3	3h	暗号化とディジタル署名	28						
	4	2h	マルウェア	29						
	5	3h	練習問題実施・解説 1	30						
	6	3h	練習問題実施・解説 2	31						
	7	3h	練習問題実施・解説 3	32						
	8	3h	練習問題実施・解説 4	33						
	9	3h	練習問題実施・解説 5	34						
	10	3h	練習問題実施・解説 6	35						
	11	3h	練習問題実施・解説 7	36						
授 業	12	3h	練習問題実施・解説 8	37						
の計	13	3h	練習問題実施・解説 9	38						
画	14	3h	練習問題実施・解説 10	39						
	15	3h	練習問題実施・解説 11	40						
	16	3h	練習問題実施・解説 12	41						
	17			42						
	18			43						
	19			44						
	20			45						
	21			46						
	22			47						
	23			48						
	24			49						
	25			50						
授業の力	法	講彰	・練習問題実施及び解説							
テキス	١	なし	,							
参考文	献	基本情報技術者試験対策テキストⅢ システムの利用と開発編 基本情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他								
			Fの内容を個別に評価し、総合的に判断する。) ₀						
評価の方法 や基準		1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合								
実務経験の 右欄にの	のある を入れ	「 る教」	受計算して評価する。 員による授業科目の場合、 実務経験と実務経験の活かし方を記載する							
実務経		- \ /	THE CONTRACT OF STREET, O			<u> </u>				
実務経験活かし										
履修上位注意事具	カ	理角	異を深めるために復習を行うこと。							

授業科目		国家	試験対策(基本情報 秋期 アルゴリズム)		単	位/時間	96時間				
開講学科等		シス	テム工学科3年		担	3当教員	森下 浩二				
授業の目・テー		基本情報技術者試験にて出題されるアルゴリズムの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。									
授業の 到達目		基本	情報技術者試験合格を目標とする。								
	1	3h	探索処理	26	3h	練習問題実施・	解説 16				
	2	4h	整列処理	27	3h	練習問題実施・	解説 17				
	3	4h	文字列操作処理	28	3h	練習問題実施・	解説 18				
	4	2h	データ構造 1	29	3h	練習問題実施・	解説 19				
	5	3h	データ構造 2	30	3h	練習問題実施・	解説 20				
	6	3h	データ構造 3	31	3h	練習問題実施・	解説 21				
	7	3h	ハッシュ法	32	3h	練習問題実施・	解説 22				
	8	2h	再帰呼び出し	33							
	9	3h	応用整列処理 1	34							
	10	3h	応用整列処理 2	35							
	11	3h	練習問題実施・解説 1	36							
授 業	12	3h	練習問題実施・解説 2	37							
\mathcal{O}	13	3h	練習問題実施・解説 3	38							
計 画	14	3h	練習問題実施・解説 4	39							
	15	3h	練習問題実施・解説 5	40							
	16	3h	練習問題実施・解説 6	41							
	17	3h	練習問題実施・解説 7	42							
	18	3h	練習問題実施・解説 8	43							
	19	3h	練習問題実施・解説 9	44							
	20		練習問題実施・解説 10	45							
	21		練習問題実施・解説 11	46							
	22	3h	練習問題実施・解説 12	47							
	23		練習問題実施·解説 13	48							
	24		練習問題実施・解説 14	49							
	25		練習問題実施·解説 15	50							
授業の方	法		・練習問題実施及び解説								
テキス	<u>۲</u>	無し									
参考文献	獣	基本情報技術者試験対策テキストIVアルゴリズム編【TAC】 基本情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他									
評価の方 や基準		1. 2. 複数	の内容を個別に評価し、総合的に判断する 模擬試験及び本試験結果 出席率及び授業態度 の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員 計算して評価する。		の点	数×担当教員が	受け持つ時間の割合」の合				
			員による授業科目の場合、 実務経験と実務経験の活かし方を記載する								
実務経	験										
実務経験活かした											
履修上の 注意事項		6-	なな深めるために復習を行うこと。								

授業科目		国家	試験対策(基本情報 秋期 オブジェクト指向)		単	位/時間		32時間			
開講学科	開講学科等		マスエ学科3年	担当教員				内藤 正勝			
授業の目 ・テーマ		基本	基本情報技術者試験にて出題されるC言語の分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。								
授業の 到達目標		基本	「情報技術者試験合格を目標とする。								
	1	1h	オブジェクト指向、オブジェクトとクラス	26	1h	練習問題実施・	解説 20)			
	2	1h	プログラミングの基本	27	1h	練習問題実施・	解説 21	l			
	3	1h	オブジェクト配列、メンバ変数	28	1h	練習問題実施・	解説 22	2			
	4	1h	複数の数値データ属性をもつクラス	29	1h	練習問題実施・	解説 23	3			
	5	1h	データ構造の表現	30	1h	練習問題実施·	解説 24	1			
	6	1h	文字列操作用のクラス	31	1h	練習問題実施・	解説 25	5			
	7	1h	練習問題実施・解説 1	32	1h	練習問題実施・	解説 26	5			
	8	1h	練習問題実施・解説 2	33							
	9	1h	練習問題実施・解説 3	34							
	10	1h	練習問題実施・解説 4	35							
	11	1h	練習問題実施・解説 5	36							
授 業	12	1h	練習問題実施・解説 6	37							
の	13	1h	練習問題実施・解説 7	38							
計画	14	1h	練習問題実施・解説 8	39							
	15	1h	練習問題実施・解説 9	40							
	16	1h	練習問題実施・解説 10	41							
	17	1h	練習問題実施・解説 11	42							
	18	1h	練習問題実施・解説 12	43							
	19	1h	練習問題実施・解説 13	44							
	20	1h	練習問題実施・解説 14	45							
	21	1h	練習問題実施・解説 15	46							
	22	1h	練習問題実施・解説 16	47							
	23	1h	練習問題実施・解説 17	48							
	24	1h	練習問題実施・解説 18	49							
	25	1h	練習問題実施・解説 19	50							
授業の方	法	講義	と・練習問題実施及び解説								
テキス	-	なし	,								
参考文献	伏	基本情報技術者試験対策テキストV プログラミングC言語編【TAC】 基本情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他									
評価の方や基準	法	1. 2. 複数	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。								
			員による授業科目の場合、 実務経験と実務経験の活かし方を記載する								
実務経駅	倹										
実務経験 活かし力											
履修上0 注意事项		理解	なな深めるために復習を行うこと。 ないである。								

授業科目		国家	表試験対策(基本情報 秋期 模擬試験)	道	单位/時間	24時間				
開講学科	等	シフ	ペテム工学科3年	担当教員		川村 剛久				
授業の目 ・テー [・]			基本情報技術者試験本試相当レベルの問題を解き、各問題に対する解答時間の配分や、現時点での 各分野における理解度を確認する。							
授業の 到達目		基本	「情報技術者試験合格を目標とする。							
	1	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 1	26						
	2		模擬試験 実施・自己採点及び確認 2	27						
	3	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 3	28						
	4	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 4	29						
	5	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 5	30						
	6	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 6	31						
	7	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 7	32						
	8	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 8	33						
	9			34						
	10			35						
	11			36						
授 業	12			37						
の計	13			38						
画	14			39						
	15			40						
	16			41						
	17			42						
	18			43						
	19			44						
	20			45						
	21			46						
	22			47						
	23			48						
	24			49						
	25			50						
授業の方	法	模揚	経試験 実施・自己採点及び確認							
テキス	١	無し								
参考文	献	無し								
評価の方 や基準		1. 2. 複数	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。							
		る教員による授業科目の場合、 れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する								
実務経	験									
実務経験活かした										
履修上(注意事 []]		理解	異を深めるために復習を行うこと。							

授業科目		ビジ	ビジネス実務Ⅲ(担任)		単位/時間	18時間					
開講学科	開講学科等		マテム工学科3年		担当教員	川村 剛久					
授業の目・テーマ	7		基本的なビジネスマナーやこれからの自分について、座学と実習を通して考える。								
授業の 到達目標		社会社会	社会人としてのマナーを身に着ける。 社会人としてこれからのキャリアを考える。								
	1	3h	ビジネスマナーについて	26							
	2	3h	社内でのコミュニケーションについて	27							
	3	2h	給与明細の見方	28							
	4	2h	なりたい自分	29							
	5	2h	キャリアパス	30							
	6	3h	始める一歩	31							
	7	3h	ライフロール	32							
	8			33							
	9			34							
	10			35							
	11			36							
授 業	12			37							
の計	13			38							
画	14			39							
	15			40							
	16			41							
	17			42							
	18			43							
	19			44							
	20			45							
	21			46							
	22			47							
	23			48							
	24			49							
	25			50							
授業の方	法	講義	表及び実習 								
テキス		なし	•								
参考文献	犬	自分	自分のキャリアを自分で考えるためのワークブック								
評価の方 や基準	評価の方法 や基準		授業態度、出席率 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計 で計算して評価する								
			教員による授業科目の場合、 ン、実務経験と実務経験の活かし方を記載する								
実務経験											
実務経験活かした	Ī										
	履修上の 注意事項		これからの自分について真剣に考える。								

授業科目		ビジ	ネス	実務Ⅲ				一時間		19時間							
開講学科	等	シス・	テム	工学科3年	担当教員				田	中 佳代							
授業の目的・テーマ		るか	人間にとっての最大のテーマである人間関係。これを円滑にする方法を頭で知るだけに留まらず、実際に身に着けているか否かで社会人としての日常生活が著しく異なります。よりよい人間関係を育むことができる人はどう考えているのかを学び、ワークを通じて実際に行動でき、信頼される人になることを目的としています。														
授業の 到達目標	111/	相手のことを考えるのは当然のことですが、その前にまず自分を 向き合い、解決することで人間関係の問題はほとんど解決します や、立ち居振る舞い等「見せる」部分もしっかりイメージできる						則」に「揺るがた	ない自分軸」	の中に潜む問題と を作り、身なり							
	1	5/9	1h	OR 人間関係・恐れと喜びその1	26												
	2	5/16	1h	人間関係・恐れと喜びその2	27												
	3	5/23	1h	発声とことば遣い	28												
	4	5/30	1h	チームワークで必要なマナーとは	29												
	5	6/6	1h	丁寧な言葉遣い	30												
	6	6/13	1h	丁寧な言葉遣い	31												
	7	6/20	1h	電話応対	32												
	8	6/27	1h	電話応対	33												
	9	7/4	1h	電話応対	34												
	10	7/11	1h	電話応対	35												
	11	7/18	1h	電話応対	36												
授	12	10/21	1h	来客応対	37												
業の	13	10/28	1h	来客応対	38												
計 画	14	11/11	1h	来客応対	39												
	15	11/18	1h	来客応対	40												
	16	11/25	1h	来客応対	41												
	17	12/2	1h	来客応対	42												
	18	1/20	1h	冠婚葬祭のしきたり	43												
	19	1/27	1h	世界と日本のしきたりの違い、食事マナー	44												
	20				45												
	21				46												
	22				47												
	23				48												
	24				49												
	25				50												
授業の方法	法	レクチャー・ロールプレイング・グループワーク															
テキスト		日本~	マナー	-・プロトコル協会 マナー・プロトコル基礎知識													
参考文献	†	ウィネ	ネット	ト 実践ビジネスマナー、他													
評価の方法 や基準	生			態度・身だしなみ・授業への取り組み方・課題・テス 当教員が受けもつ科目は、「担当教員ごとの点数×担当		が受け	持つ時	特間の割合」の合計	十で計算して評(価する							
			対員による授業科目の場合、 実務経験と実務経験の活かし方を記載する														
実務経験	Ì	航空会社(国際線)においてお客様対応、予備校校舎において受付・電話応対および生徒の面接指導を担当															
実務経験の 活かし方		社会丿	しとし	しての心構えやマナー、コミュニケーション、来客応対	や電話	舌応対	などの)レクチャーや演習	習に活かす								
履修上の 注意事項) 、「Ŀ	出来て	いなか	いったこと」に対し	ては改善する	これまで「出来ていたこと」と「出来ていなかった」ことを知り、「出来ていなかったこと」に対しては改善する素直さと、果敢に チャレンジする態度を求める							